

区内主要駅周辺への防災カメラの設置について

1 背景

令和4年5月に東京都が約10年ぶりに見直した首都直下地震等による東京の被害想定では、港区内の帰宅困難者数は531,372人とされ、発災時には駅などに多くの滞留者が発生することが懸念されています。また、台風を初めとする風水害時にも、交通機関のマヒによる駅前等での滞留者発生が想定されます。

こうした滞留者を適切に誘導することは、交通インフラの混乱が街まで広がることの防止につながることから、駅周辺の滞留状況を速やかに把握することが重要になります。

2 事業概要

発災時に駅周辺の帰宅困難者等の滞留状況を速やかに把握し、災害対策本部の適切な判断及び対応策の決定に活用するため、特に帰宅困難者が多く発生することが想定されるJRの駅周辺に防災カメラを設置します。

なお、防災カメラの設置及び管理は防災課で行い、カメラからの映像は災害対策本部の大型モニターに連動させて24時間確認できる環境を構築します。

3 設置場所

- (1) 品川駅港南口：エスカレーター天井部分
- (2) 品川駅高輪口：街路灯
- (3) 田町駅西口：喫煙所コンテナ
- (4) 田町駅東口：デッキ
- (5) 浜松町駅北口：街路灯
- (6) 浜松町駅南口：街路灯
- (7) 新橋駅S L広場：喫煙所コンテナ

4 スケジュール（予定）

令和6年7月中旬	防災カメラの設置工事開始
12月中	区民への周知（区ホームページ、広報みなど）
	防災カメラの運用開始